



会長あいさつ

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 上田 克彦

第42回日本診療放射線技師学術大会

このたび、第42回日本診療放射線技師学術大会を、山形市で、2026年9月11日(金)から13日(日)の3日間にわたり開催できますことを、大変喜ばしく思います。本大会の開催に当たり、ご多忙の中、ご参加いただく会員の皆さま、ならびに医療関係者の皆さまに、主催者として心より御礼申し上げます。

本大会は、大会テーマである「新たな潮流、紡ぐ灯 ～人とAIがもたらす放射線技術の未来～」，ならびにJARTのスローガン「安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう」に示されているように、職能団体としての専門性と独自性をより一層深め、私たち診療放射線技師の課題と未来に真摯に向き合う機会として、非常に重要な意義を持つものと考えております。特に今回は、第33回東アジア学術交流大会との同時開催であり、国際的な視野から技術の発展を見据える貴重な契機でもあります。

本大会は、日々の診療に直結する情報交換の場であり、会員の皆さまによる報告発表を主体として、診療放射線技術における日々の課題とその解決策について活発に意見を交わす場として位置付けられています。本会では、全国どこにいても会員の皆さまが生涯学習に取り組めるよう、多様なコンテンツを提供しております。本大会においても、一定期間オンデマンド配信を行い、時間や場所を問わずご視聴いただけます。

本大会が、ご参加の皆さまにとって、日頃の臨床での知見を共有し、活発な議論を通じて、診療放射線技術の発展、ひいては医療全体の質の向上に寄与する実り多き機会となりますことを心より祈念致します。

最後に、本大会の準備から運営にご尽力いただきました鈴木幸司大会長をはじめ山形県放射線技師会の皆さまに、心から御礼申し上げます。